

令和 8 年度第 1 回小牧市健康づくり推進審議会糖尿病対策専門部会議事録

日時	令和 8 年 6 月 8 日（月曜日） 14 時 00 分～15 時 00 分
場所	小牧市保健センター 大会議室
出席者	【委員】 落合委員、船橋委員、安江委員、三園委員、加藤委員 【事務局】 保健センター 澤田所長、三枝統括保健師、森係長、河野保健師、酒向保健師 健康生きがい推進課 宮田主査 保険医療課 長谷川主査
配付資料	資料 1 糖尿病連携図・取組内容 資料 2 小牧市民病院における糖尿病診療に関する課題（追加資料） 資料 3 令和 7 年度糖尿病対策専門部会取組内容 資料 4 令和 7 年度糖尿病対策における課題

1 開会

- ・ 委嘱状の交付
- ・ 委員の紹介
- ・ 保健センター所長あいさつ

2 議題

（1）小牧市における糖尿病関連事業について

●小牧市における糖尿病関連事業の全体像や概要について資料 1 をもとに説明。

- ・ 健診受診、早期受診・治療、重症化予防の各段階における連携体制について共有。

●各委員より、取組内容についての意見・感想の聴取

落合委員）（資料 2 を使用）

- ・ 糖尿病診療の課題は結果の把握の困難さである。
- ・ 市民病院では「J-DREAMS」を活用しているが、市民病院だけで把握できるのは全体の一部。かかりつけ医との循環型の診療や未治療者への介入が重要。
- ・ 発症前後の方と関わる行政や協会けんぽ、市民活動団体との連携で切れ目のない支援を目指していきたい。
- ・ 重症例の知見を提供し、未治療者への啓発等に役立てていきたい。

三園委員）

- ・ 今年度 4 月より、生活習慣病予防健診の内容の拡充および補助や、35 歳未満の節目年齢（20 歳、25 歳、30 歳）の健診受診制度も追加。未治療者への受診勧奨は継続して実施。
- ・ 保健指導も病院に限らず、ICT の活用やドラッグストアでの実施等、対象者が受けやすい環境を整えている。

船橋委員）

- ・ 診療所で行える保健指導には限界がある。ぜひ今後も保健指導が受けやすい環境づくりをしていただきたい。

- ・ 糖尿病性腎症重症化予防において、かかりつけ医・歯科・眼科などとの連携が重要だが、公式な場での連携やディスカッションの機会がなかなか難しい。

事務局)

- ・ 歯科医師会では、過去の会議を契機に勉強会の開催や糖尿病連携手帳の配付および連携医院リストやチラシを作成している。
- ・ 医師会等の連携については今後検討していきたい。

安江委員)

- ・ 昨年度の糖尿病デーをきっかけに、看護師・歯科衛生士・理学療法士の3職種がより連携するきっかけになった。今後も各職種の視点から取組について検討していきたい。
- ・ 歯と口腔の健康づくり部会もあるが、部会同士の連携は現在どのようになっているのか。

事務局)

- ・ 食育専門部会も含めた3部会がある。
- ・ 現在、部会同士の直接的な繋がりはないが、関連して出席している職員もいるため、各部会での取組に意見の反映・連携を図っていきたい。

加藤委員（保健所）

- ・ 春日井保健所および江南保健所管内の7市町で広域会議を開催しており、糖尿病対策に関する各市町の悩みを共有している。
- ・ 春日井保健所管内の広域会議を活用し、小牧市の取り組みを他市町へ広げるとともに、関係機関をつなぐ場の提供を検討していきたい。
- ・ 医師会および歯科医師会をつなぐ機会の提供についても検討していきたい。

（２）今年度の糖尿病対策専門部会における取組について

●昨年度の取組内容および現状の課題について説明

①世界糖尿病デーに関する取組（資料２）

- ・ 今年度11月9日～16日で図書館イベントスペースを利用予定。

②重症化予防に向けた取組（資料３）

- ・ 必要な時に適切な受療行動をとれるよう、「患者力」の強化に向けた取組について検討。

●各委員より意見聴取

①世界糖尿病デーに関する取組

落合委員)

- ・ 昨年同様、講演・相談会および血糖測定体験会を予定。糖尿病とスティグマ（偏見）をテーマにした講演を企画していきたい。

加藤委員（市民代表）

- ・ 昨年の講演や測定体験は市民にとって非常に有意義であった。本年度の企画にも期待している。
- ・ 図書館という立ち寄りやすい場所での開催はとてありがたいと思う。

安江委員)

- ・ 企画内容について、会場レイアウトや時間配分を含め、調整・検討していきたい。

②重症化予防に向けた取組

落合委員)

- ・ 議題（１）の内容をふまえ、関連機関との連携を進め、今年度さらに取組を深めていきたい。

3 その他

4 閉会